

JACTFL『複言語・多言語教育研究』第9号 執筆要領

1. 締切期日
 - ・ 第1稿の締切は、2021年10月31日(日)17時とする。
 - ・ 修正稿の締切は、2021年12月20日(月)17時とする。
2. 提出先
 - ・ 執筆した原稿は、Eメールにて電子データ(Wordファイル原稿)の形で編集委員会宛て(jactfl_genko-group@keio.jp)に送付する。
 - ・ 使用ソフト: 原稿は「マイクロソフト社」の「Microsoft Office Word(ワード)」で作成する。
 - ・ 提出の際は次の点を再度確認してから提出すること。
 - 「英文タイトル」と「Abstract」は、学術英語に詳しい人による校正を受ける
 - 17. に示す著作権の譲渡に関する通知を編集長宛てに送付する
3. 連絡先
 - ・ 連絡先は、以下のとおり。
メールアドレス: jactfl_genko-group@keio.jp
4. 投稿資格
 - ・ JACTFLの会員であること。
 - ・ JACTFLの会員でない場合は、投稿時までに機構のホームページから入会手続きをお済ませください。
著者が複数名の場合は、著者全員が会員である必要があります。
5. 使用言語
 - ・ 原稿執筆時の使用可能言語は日本語、または英語とする。もしも、それ以外の言語の使用を希望する場合は、事前に編集委員会にお問い合わせください。
6. 分量
 - ・ 原稿は、論考と報告の2カテゴリとする。執筆者は、原稿送付の際、希望するカテゴリを題名の前に記載すること。
 - ・ 論考は、所定の形式で、原則として10~16ページとする。
 - ・ 報告は、所定の形式で、原則として3~10ページとする。
 - ・ 規定ページよりも多くなる場合は、編集委員会で協議した上で可否を判断し、決定する。
7. 原稿の採否
 - ・ 原稿の採否は、編集委員会が厳密な審査の上、決定する。
8. 査読
 - ・ 論考と報告について、編集委員会及び同委員会が依頼した専門家が査読を行い、適宜修正等を執筆者に求めるものとする。なお、論考と報告の別は、執筆者の申し出を元に、編集委員会が決定する。
9. 構成
 - ・ 原則として、「JACTFL9templete.docx」を使用する。
 - ・ 用紙サイズはB5縦とする。
 - ・ 用紙の余白は上下が35mm、左右は20mmとする。
10. タイトル
 - (ア)和文タイトル
 - ・ メインタイトル —サブタイトル— のようにする。
 - ・ メインタイトルは、12pで中央寄せ、フォントは、MS Pゴシックとする。
 - ・ サブタイトルは、11pで中央寄せ、フォントは、MS Pゴシックとする。
 - (イ)英文タイトル

- ・ メインタイトル：サブタイトルとする。
- ・ タイトルは行頭や固有名詞の頭文字を大文字書きにし、その他は小文字とする。
- ・ メインタイトルは、12p で中央寄せ、フォントを Arial とする。
- ・ サブタイトルは、11p で中央寄せ、フォントを Arial とする。
- ・ 英文タイトルはAbstractとともに、提出前に学術英語に詳しい人による校正を受け、提出の際に「学術英語に詳しい人による校正済み」である旨、報告すること。

11. 要旨、Abstract

(ア)要旨（日本語）

- ・ 分量は300～400字程度とする。
- ・ 要旨は、9p で段落のはじめは、全角1マスあける。
- ・ フォントは MS P 明朝とする。
- ・ 原稿のキーワードとして、3語～5語を指定すること。

(イ)Abstract（英語）

- ・ 分量は300字～400字程度とする。
- ・ Abstractは、9p で段落のはじめは、全角2マスあける。
- ・ フォントは Times New Roman とする。
- ・ 原稿のKeywordsとして、3語～5語を指定すること。
- ・ Abstractは英文タイトルとともに、提出前に学術英語に詳しい人による校正を受け、提出の際に「学術英語に詳しい人による校正済み」である旨、報告すること。

12. 著者名・著者所属

- ・ 著者名が境 一三の場合、次のようにする。
本文内→境 一三 SAKAI Kazumi¹、脚注内→所属：慶應義塾大学 Keio University
- ・ 著者名は 11p で右寄せ、和文著者名のフォントは MS P ゴシック、英文著者名のフォントは Arial とする。
- ・ 著者の所属は脚注に記す。9p で左寄せ、和文所属のフォントはMS P ゴシック、英文所属は Arial とする。
- ・ 複数著者の場合は1行につき、1名の著者とする。

13. 章立て

- ・ 章立ては、10.5p とする。
- ・ フォントは、和文はMS P ゴシック、英文は Arial とする。
- ・ 数字及び句読点は、「1. ○○」「1.1 ○○」のように半角とする。

14. 本文

- ・ 本文は、10.5p とする。
- ・ 段落のはじめは、全角1マスあける。
- ・ 和文フォントは MS P 明朝、英文フォントは Times New Roman とする。
- ・ 日本語の句読点は「，」「。」ではなく、「、」「。」を使う。
- ・ 数字の表記は、原則として半角とする。
- ・ 年号の表記は、原則として西暦とする。但し、西暦（和暦）年、和暦（西暦）年も可とする。
- ・ 文献からの引用は、（著者名 2016:57-60）のように記す。
- ・ 図および表は、図 1、表 1 のように記し、本文中に挿入する。
- ・ 図のタイトルは図の下に9p で中央寄せ、和文フォントは MS P ゴシック、英文フォントは Arial とする。
- ・ 表のタイトルは表の上に9p で中央寄せ、和文フォントは MS P ゴシック、英文フォントは Arial とする。

15. 註

- ・ 註は、脚注とする。
- ・ 註は、9p とする。
- ・ 和文フォントは、MS P 明朝、英文フォントは Times New Roman とする。

16. 引用文献

- ・ 原則的に論考・報告で引用した文献を引用文献として、原稿の末尾にまとめて記載する。
- ・ 引用文献は、MS P ゴシックとする。
- ・ 日本語の文献については、文字サイズを 10p、フォントを MS P 明朝とする。
- ・ 日本語の単行本は、その書名を『』で記す。
- ・ 日本語の学術雑誌は、その誌名を『』、論文名は「」で記し、掲載雑誌のページを必ず明記する。
- ・ 印欧語の文献については、文字サイズを 10p、フォントを Times New Roman とする。
- ・ 印欧語などのアルファベット表記の文献は、単行本の書名、学術雑誌の誌名をイタリックで記す。学術雑誌の論文タイトルはイタリックで記さず、掲載雑誌のページを明記する。
- ・ インターネット検索による文献表記の際には、URL 情報に加えて、[accessed 11 May 2017]のように検索年月日を明記する。

17. 著作権について

- ・ 本会誌に投稿される論文等の著作権は、JACTFL（以下、「本学会」）に最終原稿が投稿された時点から原則として本学会に帰属します。本学会発行の出版物に投稿される方は、この規程に従うことに同意したものと見なしますのでご了承ください。
- ・ 執筆にあたっては他人の著作権の侵害、名誉毀損、その他の問題を生じないよう十分に配慮してください。
- ・ 本会誌に掲載されたものを、1年を経た後に PDF として本学会ホームページとJ-STAGEで公開します。つきましては、いただいた原稿の著作権につき下記の項目にご承諾をいただきたく、お願いいたします。なお、第3項は、皆さんが著書などに転載される場合のことを想定しております。本誌掲載は、ご承諾を前提といたしますので、お手数でもご記入の上ご返信いただきますよう、お願いいたします。（氏名は著者全員を書くこと）

- 1) 著作権は著者とJACTFLの共有とする。
- 2) 冊子刊行の1年後に電子媒体として公開される。
- 3) 冊子刊行から1年を経た後、JACTFL理事会の承認を得て転載可能とする。

上記項目を 承諾する 承諾しない

年月日

氏名

(JACTFL 会誌編集委員会 委員長)